

# 学習課題(中学校2年生)



## 【国語】

### <学習内容>

○教科書「構成や展開を工夫して書こう」(P216～219)を読んで、「ある日の自分」の物語を書き、家族の人に読んでもらおう。

### <取り組み方>

(1) 物語の題材を考えよう。

※自分が体験した心に残る出来事を選ぼう。

※そのときに自分がどんなことを感じ、どんな行動をしたか思い出してみよう。

(2) 物語のあらすじを考えよう。

※(1)で決めた出来事の、設定について整理してみよう。

(例) いつのことか、場所はどこだったか、誰が出てきたか、何をしたか、自分の気持ちや考えなどがどのように変化したか、何がきっかけで変化したかなど。

※自分の気持ちや考えが大きく変わった場面を中心にあらすじを考えよう。

(3) 物語の構成・展開を考えよう

※起承転結の流れで書こう。

○教科書 P218 下段の「学習の窓」を読んでみよう。

○場面展開ごとの心情の変化も意識してみよう。

(4) 描写を工夫して 600 字程度の「ある日の自分」の物語を書こう。

※読み手が場面や人物の様子を生き生きと想像できるように、これまで読んだ物語を参考にしながら描写を工夫してみよう。

○教科書 P218～219 の「物語の例」を見てみよう。

○登場人物の呼称（「僕」や「私」、名前も可）や風景の描写、気持ちや行動の表現（「寂しい」ではなく、「心にポツカリと穴が空いたよう」など）も工夫してみよう。

○教科書 P219 の「達人からのひと言」も参考にしてみよう。

(5) 書いた文章を表現のしかたに着目して読み返し、読みやすくわかりやすい文章になっているかを推敲しよう。

※教科書 P116 で学習した内容を振り返り、推敲をしよう。

(6) 書いた物語を家の人に読んでもらい、感想をもらおう。

※(1)～(6)に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※(6)について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人があると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

### <学習のヒント>

(1) 場面の様子を表わすためにも、風景や天候などの情景が目に浮かびやすい出来事を選ぶとよいでしょう。